

# 令和2年 青森県人口動態統計（概数）の概況

## 目 次

1	総 評	1
2	結果の要約（対前年比及び全国との比較）	4
3	出生	6
4	死亡	8
5	婚姻・離婚	14
	統 計 表	16
	第1表 人口動態総覧の年次推移	17
	第2表 人口動態総覧（率）の年次推移	18
	第3表 出生数の年次別推移、母の年齢階級（5歳階級）別	18
	第4表 母の年齢階級（5歳階級）別出生数の構成割合	18
	第5表 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北6県比較）	19
	第6表 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移	19
	第7表 死亡順位別にみた死亡数の構成割合	20
	第8表 主な死因別にみた年齢調整死亡率	20
	第9表 乳児死亡数及び死亡率の推移	21
	第10表 新生児死亡数及び死亡率の推移	21
	第11表 周産期死亡数及び死亡率の推移	22

令和3年6月  
青森県健康福祉部  
担当：健康福祉政策課  
直通：017-734-9277  
代表：017-722-1111（内）6221

# 用語等の説明

## 1 用語説明

- ・自然増減：出生数から死亡数を減じたもの。
- ・乳児死亡：生後1年未満の死亡。
- ・新生児死亡：生後4週未満の死亡（乳児死亡の内数）。
- ・早期新生児死亡：生後1週未満の死亡（新生児死亡の内数）。
- ・死産：妊娠満12週以後の死児の出産。
- ・周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの。
- ・合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で、一生の間に生むとした時の平均こども数に相当する。

## 2 率の算出方法

- (1) 出生・死亡・自然増減・婚姻及び離婚率：人口千対  
(年間発生件数÷総務省推計日本人人口) ×1,000
- (2) 乳児・新生児及び早期新生児死亡率：出生千対  
(年間発生件数÷年間の出生数) ×1,000
- (3) 死産率（自然死産率及び人工死産率を含む。）：出産千対  
{年間発生件数÷年間出産数（出生数+死産数）} ×1,000
- (4) 周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率：出産千対  
{年間発生件数÷年間出産数（出生数+妊娠満22週以後の死産数）} ×1,000
- (5) 死因別にみた死亡率：人口10万対  
(年間発生件数÷総務省推計日本人人口) ×100,000

## 3 率の算出に用いた人口

### ・令和2年

県分：総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態保健社会統計課で推計。

総数	1, 225, 000人
男	576, 000人
女	649, 000人

### ・令和元年

県分：総務省統計局公表の都道府県別推計日本人人口（令和元年10月1日現在）

総数	1, 240, 000人
男	583, 000人
女	657, 000人

## 4 表章記号

- ・計数のない場合 —
- ・統計項目のありえない場合 ・
- ・計数不明又は計数を表章することが不適当な場合 …
- ・比率が微小（表章単位の2分の1未満）の場合 0.0、0.00

## 5 注意事項

厚生労働省において、平成16・18・21～29年の都道府県からの報告漏れ（平成31年3月29日厚生労働省公表）による再集計を行ったことにより、表の中で下線が引かれた数値について修正している。

## 1 総 評

(1) 出生数は減少が続いており、過去最少。合計特殊出生率は近年、低下しており、全国を下回った。

出生数は6,837人で、前年の7,170人より333人減少した。また、1人の女性が一生に産む子どもの数を表す合計特殊出生率は1.33で、前年の1.38から0.05低下し、全国の1.34を0.01ポイント下回った。

死亡数は17,905人で、出生数と死亡数の差である自然増減数は11,068人減となった。

### 【県の取組】

令和2年3月に策定した次世代育成支援行動計画「のびのびあおもり子育てプラン」(後期計画)及び令和3年3月に策定した「青森県子どもの貧困対策推進計画」に基づき、妊産婦・乳幼児から成人期に向けた保健医療対策の充実、保護者の選択による満足度の高い保育の提供の推進、様々な環境にある子どもや家庭に対する支援の充実など、子どもを中心に据えた各種施策を切れ目なく展開している。

① 妊娠・出産支援として、「特定不妊治療費助成事業」のほか、「乳幼児はつらつ育成事業」を実施し、妊娠期からの経済的負担の軽減を図っている。また、「青森県妊産婦情報共有システム」及び「未熟児等情報共有システム」により、妊娠期から切れ目のない支援体制を構築し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進している。

② 子育て支援として、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る「保育料軽減事業」や病児保育・一時預かりなどの利用者の多様なニーズに応じた満足度の高い保育を推進するとともに、それを支える保育人材確保のため、保育サービス事業所認証評価制度を実施し、職員の処遇改善、人材育成及びサービスの質の向上等に取り組む事業者を支援する。

また、子育て家庭を社会や地域全体で温かく見守り支え合う社会の実現に向けた「地域ぐるみの子ども・子育て支援」を推進するため、各市町村の行う利用者支援事業の実施に向けた支援に取り組む。

③ 自然減対策として、「家庭福祉対策教育支援貸付費補助事業(大学入学時奨学金)」や「保育士資格取得支援・修学資金等貸付事業」、労働者の仕事と子育ての両立への希望を実現するため企業の「働き方改革」を認証・支援する「あおもり働き方改革推進企業認証制度」を実施する一方、若者や女性の県内定着を促進する社会減対策と両輪で取り組んでおり、今後も、出生数減少に影響している出産世代の人口減少の抑制に取り組んでいく。

(2) 疾病別三大死因(悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患)の死亡数の減少により、全体の死亡数・死亡率が減少。

死亡数は17,905人で、前年の18,424人より519人減少した。

また、死因別の順位では、第1位悪性新生物(4,988人、前年比137人減)、第2位心疾患(2,714人、前年比91人減)、第3位老衰(1,606人、前年比112人増)となっており、これら3つの死因の死亡数を合わせると死亡数全体の5割を超えている。

なお、糖尿病による死亡数は209人で前年より14人減少した。

### 【県の取組】

※新型コロナウイルスの影響を踏まえ、延期・中止となることもあります。

① 「早世の減少と健康寿命の延伸により全国との健康格差の縮小をめざす」ことを全体目標として、平成25年3月に策定し平成30年に中間評価を行った「健康あおもり21(第2次)改訂版」に基づき、肥満予防対策、喫煙防止対策、自殺予防対策を重点課題とし、県民のヘルスリテ

ラシー（健やか力）の向上、ライフステージに応じた生活習慣等の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防、県民の健康を支え、守るための社会環境の整備に取り組んでいる。

ア 今年度は、従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営®」（※）に取り組む事業所を認定する「青森県健康経営認定制度」の取組を一層推進するため、認定要件の一つとして事業所に設置を求めている「健康づくり担当者」の養成及びフォローアップ、認定事業所への個別支援を、県医師会に委託して実施することとしている。

また、第一次産業就業者の健康づくりの取組を推進するため、組合員の健康づくりに取り組む農業協同組合、漁業協同組合の女性部と連携し、体験型セミナー等の開催により、健康意識の向上を図ることとしている。

（※）「健康経営®」：特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

イ 心疾患、脳血管疾患等の循環器病対策については、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進することを目的に、令和元年12月に循環器病対策基本法が施行されたことから、新たに循環器病対策推進協議会を設置し、県の循環器病対策推進計画策定に向けた議論を行っている。

ウ 糖尿病対策について、糖尿病と歯周病は相互に影響を及ぼすことから、医科歯科連携体制の検討、構築及び医科歯科合同研修会等の開催により両疾患の関連について普及啓発を図ることとしている。

② 死因の第1位のがん（悪性新生物）については、平成30年度から令和5年度までを期間とする第三次青森県がん対策推進計画の全体目標である

ア 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

イ 患者本位のがん医療の実現

ウ 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

に取り組み、「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す社会の実現」をめざすこととしている。

今年度は、死亡率減少の効果があるとされる科学的根拠に基づくがん検診の推進について、がん検診を適切な精度管理の下で実施するための本県におけるがん検診の要綱作成と浸透を図るための取組を進めることとしている。

また、働き盛り世代とその家族のがん検診に関する環境整備を進めることを目的として、経営者等を対象に、職域のがん検診について、正しくがん検診を受けるための働きかけを進めるほか、平成29年度から令和元年度まで実施した「大腸がん検診モデル事業」の手法を用いて、市町村が行う未受診者対策を引き続き支援することとしている。

### （3）乳児・周産期死亡率は減少、新生児死亡率は微増。

乳児死亡率は、2.6で前年を0.6、周産期死亡率は、4.7で前年を0.3それぞれ下回った。新生児死亡率は、2.2で前年を0.1上回った。

これらの死亡率は、1年単位での死亡数が少ないため、数名の死亡数の増減で大きく変動することから、平成23～27年までと、平成28～令和2年までの5年単位で比較したところ、乳児死亡率は2.16から2.39に上昇、新生児死亡率は1.13から1.59に上昇、周産期死亡率は3.79から3.81に上昇した。

【県の取組】※新型コロナウイルスの影響を踏まえ、延期・中止となることもあります。

① 乳児死亡、周産期死亡等の改善を図るため、青森県立中央病院総合周産期母子医療センターを中心とした「青森県周産期医療システム」により、医療機関相互の連携及び役割分担を明確化しているほか、「青森県妊産婦情報共有システム」及び「未熟児等情報共有システム」により、地域保健と医療機関の連携、妊婦の健康管理の徹底、未熟児等の養育に関する保健指導等により、医学的リスク等の早期発見や妊娠期からの児童虐待予防に努めてきた。

② 平成25年度には、総合周産期母子医療センターのNICU（新生児集中治療室）病床を12床から15床に増床するなど、ハイリスク分娩に対応する体制の更なる整備に取り組んできた。

- ③ 遠隔地から総合周産期母子医療センターを利用する患者・家族のため平成24年7月に県立中央病院そばに待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)を開設し、利便性向上と負担軽減を図っている。
- ④ 加えて、平成28年度から、総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターに遠方から通院するハイリスク妊産婦等が安心して治療を受けられるよう、交通費等の支援を行う市町村に対する補助事業を実施しており、令和2年度からは補助額を引き上げ、妊産婦の不安解消と負担軽減に努めている。
- ⑤ また、母子健康サービスと子育て支援サービスを一体的に提供することで、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」について、「子ども家庭総合支援拠点」とともに、県内市町村の設置が促進されるよう、支援強化を図ってきた。

#### (4) 自殺者数は増加するも、長期的には減少傾向。

自殺による死亡者数は238人で、前年の209人を29人上回った。

人口10万人当たりの自殺による死亡率は19.4で、前年の16.9を2.5ポイント上回り、全国における順位は前年の17位から4位となった。

#### 【県の取組】

- ① 平成13年度から、「健康あおもり21」において自殺を重点施策と位置付け、県民に対する正しい知識や理解の普及啓発、相談体制の充実・強化、年代やリスク要因に応じた支援等を体系化し実施してきた。
- ② 平成29年度に自殺対策基本法第13条に定める県の自殺対策計画として「いのち支える青森県自殺対策計画」を策定し、平成30年度から、計画に基づく総合的な自殺対策を推進している。
  - ア 詳細な現状分析に基づき、高齢者対策、生活困窮者対策、勤務・経営問題対策、子ども・若者対策の4分野を重点施策とし、それぞれのリスク要因に着目した効果的な支援を全庁的な体制の下、部門横断的に行う。
  - イ 包括的に自殺対策を推進するため、広く県民に向けた相談窓口の周知やワンストップ型の相談事業等の実施、自殺対策を民間レベルで推進する団体への支援、自殺未遂者支援、職域におけるゲートキーパー養成など幅広い取組を進める。
  - ウ 住民に最も身近な基礎自治体である市町村においても、自殺対策計画を策定していることから、住民の暮らしに密着した地域の特性に応じた自殺対策が推進されるよう、市町村支援を強化する。

## 2 結果の要約（対前年比及び全国との比較）

### （1）出生数は「減少」

本県の出生数は6,837人で、前年の7,170人より333人減少した。出生率（人口千対）は5.6で、前年の5.8を0.2ポイント下回った。また、全国の6.8を1.2ポイント下回り、全国順位は45位（前年45位）であった。

また本県の合計特殊出生率は1.33、前年の1.38より0.05ポイント減となった。全国の1.34を0.01ポイント下回り、全国順位は36位（前年36位）であった。

### （2）死亡数は「減少」

本県の死亡数は17,905人で、前年の18,424人より519人減少した。死亡率（人口千対）は14.6で、前年の14.9を0.3ポイント下回った。また、全国の11.1を3.5ポイント上回り、全国順位は2位（前年3位）であった。

### （3）乳児死亡数は「減少」

本県の乳児死亡数は18人で、前年の23人より5人減少した。乳児死亡率（出生千対）は2.6で、前年の3.2を0.6ポイント下回った。また、全国の1.8を上回り、全国順位は5位（前年1位）であった。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成23～27年の2.16から平成28～令和2年の2.39と上昇した。

### （4）新生児死亡数は「横ばい」

本県の新生児死亡数は15人で、前年の15人と同数となった。新生児死亡率（出生千対）は2.2で、前年の2.1を0.1ポイント上回った。また、全国の0.8を1.4ポイント上回った。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成23～27年の1.13から平成28～令和2年の1.59と上昇した。

### （5）自然増減数は減少幅が「縮小」

本県の自然増減数は11,068人減となり、前年の11,254人減と比較すると減少幅が186人縮小し、自然増減率（人口千対）は△9.0で前年の△9.1を0.1ポイント上回ったものの、22年連続の自然減となった。

### （6）死産数（妊娠満12週以後21週以前の死児の出産）は「減少」

本県の死産数は145胎（自然死産87胎、人工死産58胎）で、前年の168胎（同88胎、同80胎）より23胎減少（同1胎減、同22胎減）した。死産率（出産（出生＋死産）千対）は20.8で、前年の22.9を2.1ポイント下回った。また、全国の20.1を0.7ポイント上回った。

### （7）周産期死亡数は「減少」

本県の周産期死亡数は32件（妊娠満22週以後の死産17胎、早期新生児死亡15人）で、前年の36件（同25胎、同11人）より4件減少（同8胎減、同4人増）した。周産期死亡率（出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対）は4.7で、前年の5.0を0.3ポイント下回った。また、全国の3.2を1.5ポイント上回り、全国順位は2位（前年2位）であった。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成23～27年の3.79から平成28～令和2年の3.81と上昇した。

### （8）婚姻数は「減少」

本県の婚姻件数は4,032組で、前年の4,601組より569組減少した。婚姻率（人口千対）は3.3で、前年の3.7より0.4ポイント下回った。また、全国の4.3を1.0ポイント下回り、全国順位は44位（前年45位）であった。

### （9）離婚数は「減少」

本県の離婚件数は1,915組で、前年の2,009組より94組減少した。離婚率（人口千対）は1.56で、前年の1.62を0.06ポイント下回った。また、全国の1.57を0.01ポイント下回り、全国順位は20位（前年29位）であった。

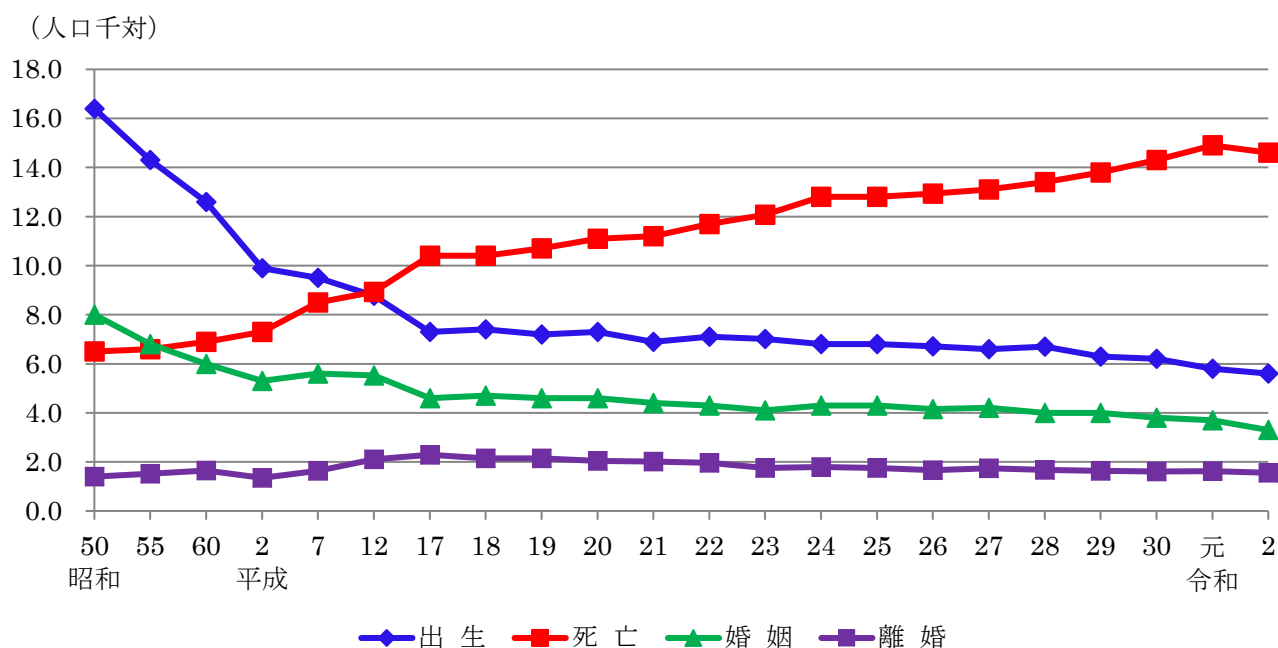
表1 人口動態総覧

区分	青森県						全国		
	実数			率			率		
	令和2年	令和元年	対前年比	令和2年	令和元年	対前年比	令和2年	令和元年	対前年比
出生	6,837	7,170	△ 333	5.6	5.8	△ 0.2	6.8	7.0	△ 0.2
死亡	17,905	18,424	△ 519	14.6	14.9	△ 0.3	11.1	11.2	△ 0.1
乳児死亡	18	23	△ 5	2.6	3.2	△ 0.6	1.8	1.9	△ 0.1
5年単位	92 (H28~R2)	98 (H23~H27)	△ 6	2.39 (H28~R2)	2.16 (H23~H27)	0.23	1.89 (H28~R2)	2.13 (H23~H27)	△ 0.24
新生児死亡	15	15	0	2.2	2.1	0.1	0.8	0.9	△ 0.1
5年単位	61 (H28~R2)	51 (H23~H27)	10	1.59 (H28~R2)	1.13 (H23~H27)	0.46	0.87 (H28~R2)	0.99 (H23~H27)	△ 0.12
自然増減	△ 11,068	△ 11,254	186	△ 9.0	△ 9.1	0.1	△ 4.3	△ 4.2	△ 0.1
死産	145	168	△ 23	20.8	22.9	△ 2.1	20.1	22.0	△ 1.9
自然死産	87	88	△ 1	12.5	12.0	0.5	9.5	10.2	△ 0.7
人工死産	58	80	△ 22	8.3	10.9	△ 2.6	10.6	11.8	△ 1.2
周産期死亡	32	36	△ 4	4.7	5.0	△ 0.3	3.2	3.4	△ 0.2
5年単位	147 (H28~R2)	172 (H23~H27)	△ 25	3.81 (H28~R2)	3.79 (H23~H27)	0.02	3.39 (H28~R2)	3.85 (H23~H27)	△ 0.46
妊娠満22週以後の死産	17	25	△ 8	2.5	3.5	△ 1.0	2.5	2.7	△ 0.2
早期新生児死亡	15	11	4	2.2	1.5	0.7	0.7	0.7	△ 0.0
婚姻	4,032	4,601	△ 569	3.3	3.7	△ 0.4	4.3	4.8	△ 0.5
離婚	1,915	2,009	△ 94	1.56	1.62	△ 0.06	1.57	1.69	△ 0.12

表2 合計特殊出生率

区分	令和2年	令和元年
青森県	1.33	1.38
全国	1.34	1.36

図1 人口動態総覧（率）の年次推移



### 3 出生

#### (1) 出生数

青森県の令和2年の出生数は6,837人で、前年の7,170人より333人減少した。

青森県の出生数は減少傾向にあり、昭和60年には20,000人、平成21年には10,000人を割り込んでいる。

出生率（人口千対）は5.6で、前年の5.8を0.2ポイント下回った。また全国は6.8で、1.2ポイント下回る結果となった。

#### (2) 合計特殊出生率の年次推移

令和2年の合計特殊出生率は1.33、前年の1.38より0.05減となり、全国の1.34を0.01ポイント下回った。

図2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

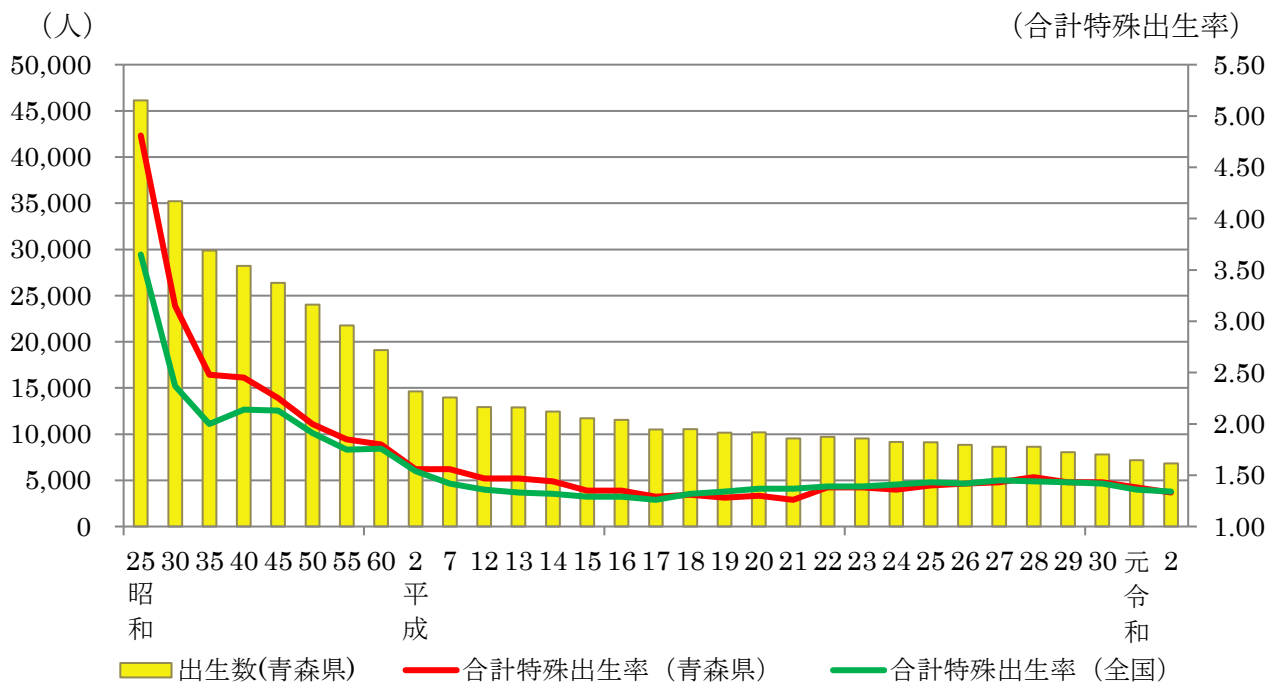
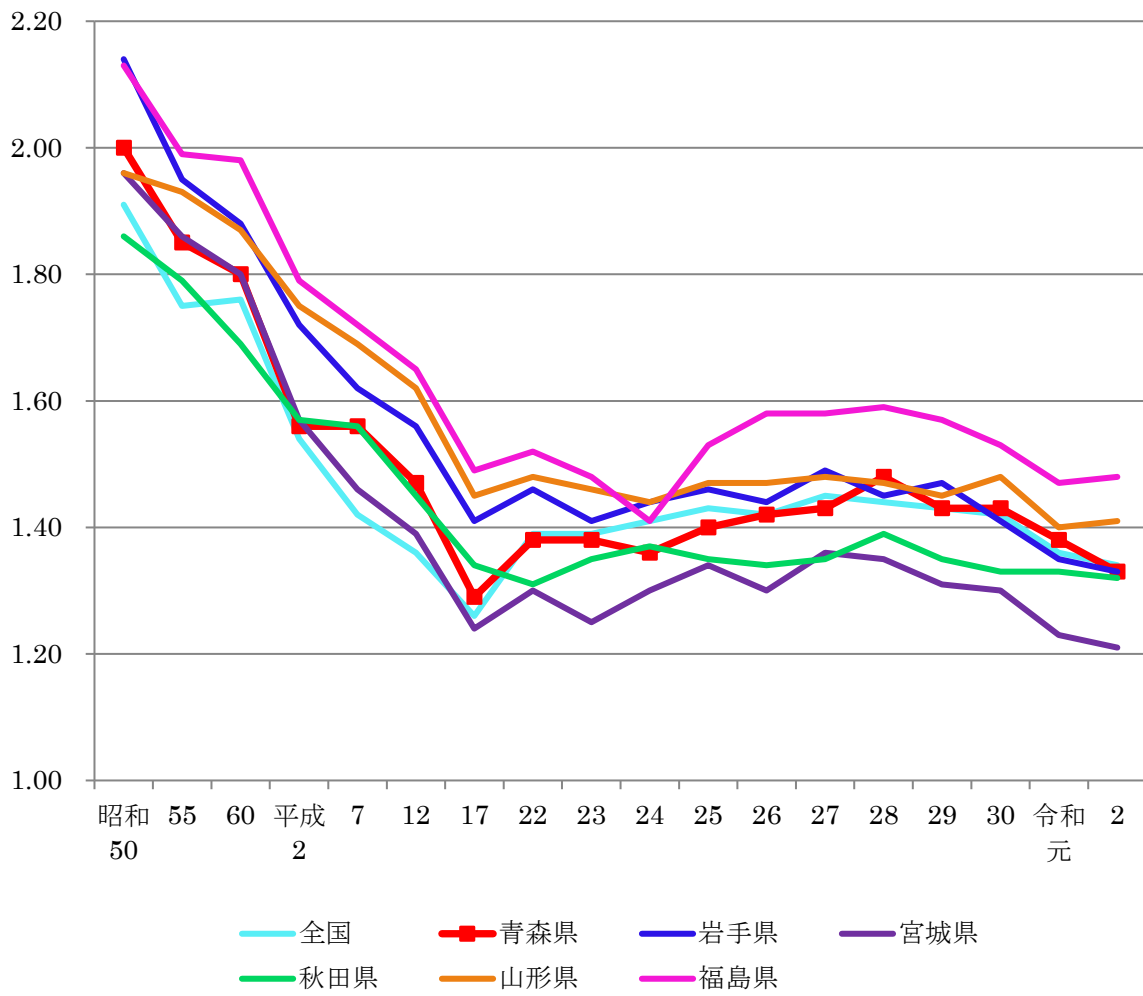




図3 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北他県との比較）



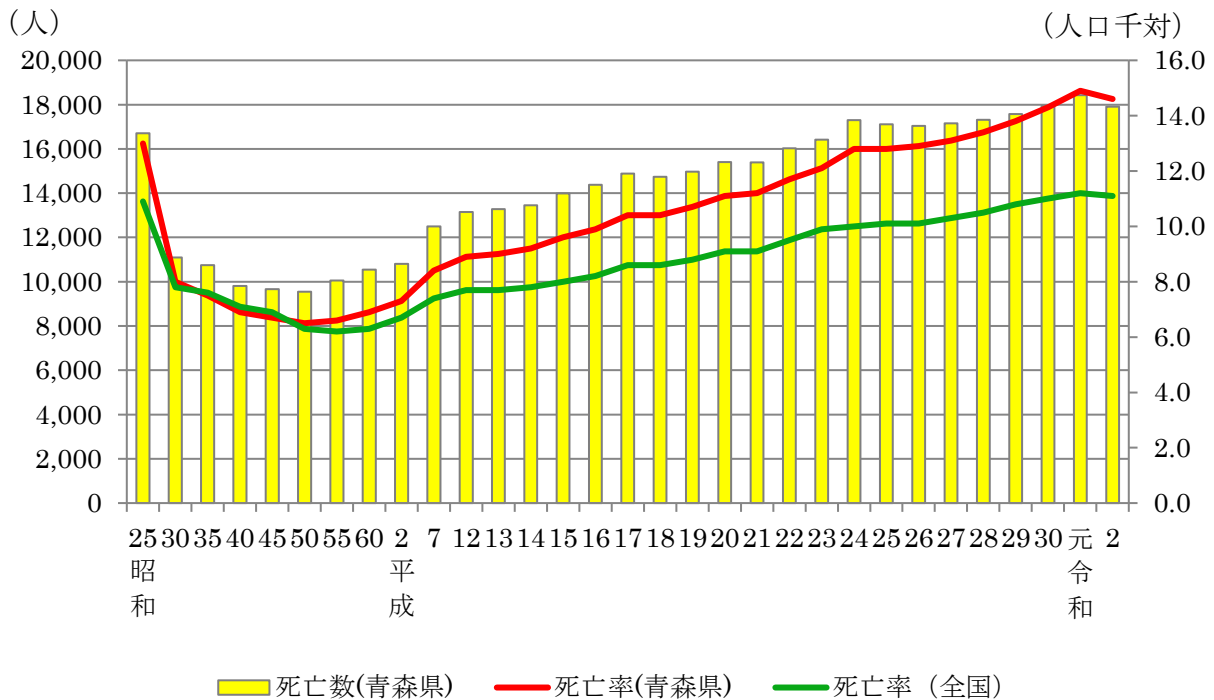
## 4 死亡

### (1) 死亡数・死亡率

令和2年の死亡数は17,905人で、前年の18,424人より519人減少し、死亡率（人口千対）は14.6（全国11.1）で、前年の14.9（全国11.2）を0.3ポイント下回った。

青森県の死亡者は、高齢化の進行に伴い昭和55年には10,000人を、平成20年には15,000人を超えるに至っている。

図4 死亡数及び死亡率の年次推移



### (2) 死因

#### ① 主な死因

令和2年の死因の第1位は悪性新生物で、死亡数4,988人、死亡率（人口10万対）は407.2となった。第2位は心疾患で死亡数2,714人、死亡率221.6、第3位は老衰で、死亡数1,606人、死亡率131.1、第4位は脳血管疾患で、死亡数1,455人、死亡率118.8となった。これらの4つの死因で、死亡者10,763人と、全体の60.1%（前年59.9%）を占めている。

#### ア 悪性新生物

悪性新生物による死亡率（人口10万対）は407.2で前年の413.3を6.1ポイント下回り、全国順位は2位（前年2位）となった。

死亡率は年々上昇していたが、令和2年は死亡率が減少に転じた。

#### イ 心疾患

心疾患による死亡率（人口10万対）は221.6で前年の226.2を4.6ポイント下回り、全国順位は7位（前年7位）となった。

死亡率は近年上昇傾向にあったが、令和2年は死亡率が減少に転じた。

#### ウ 老衰

老衰による死亡率（人口10万対）は131.1で前年の120.5を10.6ポイント上回り、全国順位は18位（前年19位）となった。

死亡率は年々上昇している。

## エ 脳血管疾患

脳血管疾患による死亡率(人口10万対)は118.8で前年の129.9を11.1ポイント下回り、全国順位は7位(前年5位)となった。

死亡率は近年横ばいの傾向となっていたが、令和2年は死亡率が減少に転じた。

図5 主な死因別死亡数の割合

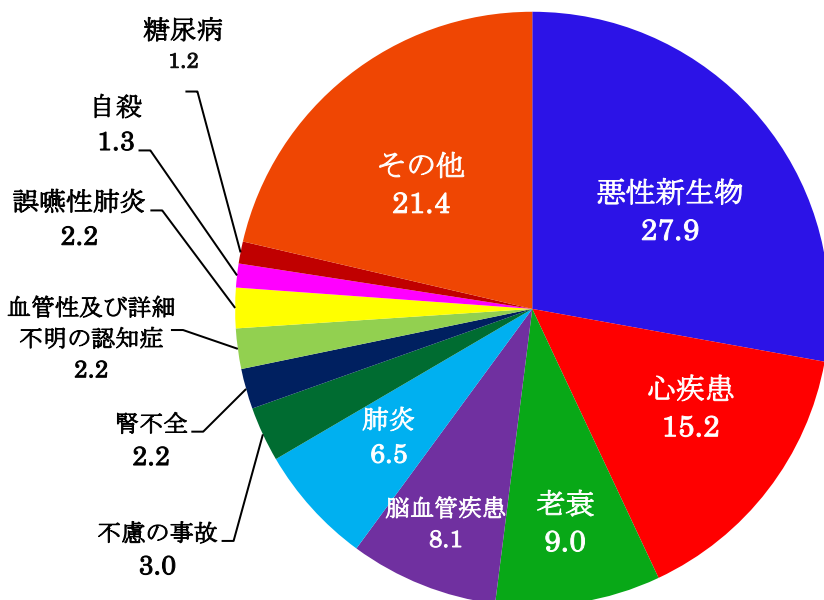
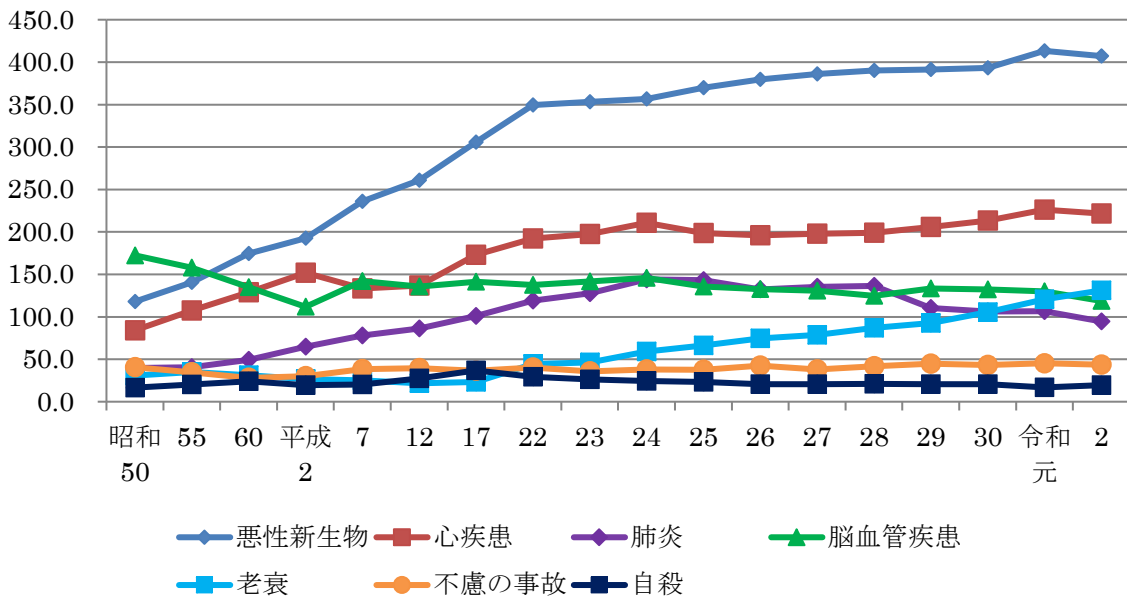


表3 主な死因別にみた死亡数・死亡率・順位

死 因	令和2年			令和元年		
	総 数			総 数		
	死 亡 数	率	全国順位	死 亡 数	率	全国順位
死 亡 総 数	17,905	1,461.6		18,424	1,485.8	
悪性新生物	4,988	407.2	2	5,125	413.3	2
心 疾 患	2,714	221.6	7	2,805	226.2	7
老 衰	1,606	131.1	18	1,494	120.5	19
脳血管疾患	1,455	118.8	7	1,611	129.9	5
肺 炎	1,160	94.7	5	1,321	106.5	7
不慮の事故	534	43.6	6	562	45.3	6
腎 不 全	398	32.5	3	430	34.7	2
血管性及び詳細不明の認知症	387	31.6	5	379	30.6	5
誤嚥性肺炎	387	31.6	38	351	28.3	40
自 殺	238	19.4	4	209	16.9	17
糖 尿 病	209	17.1	3	223	18.0	1

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移

(人口10万対)



② 自殺

令和2年の自殺による死亡者数は238人で、前年の209人より29人増加した。また死亡率(人口10万対)は19.4(全国16.4)で、前年の16.9(全国15.7)を2.5ポイント上回った。

図7 自殺による死亡者数・死亡率の推移

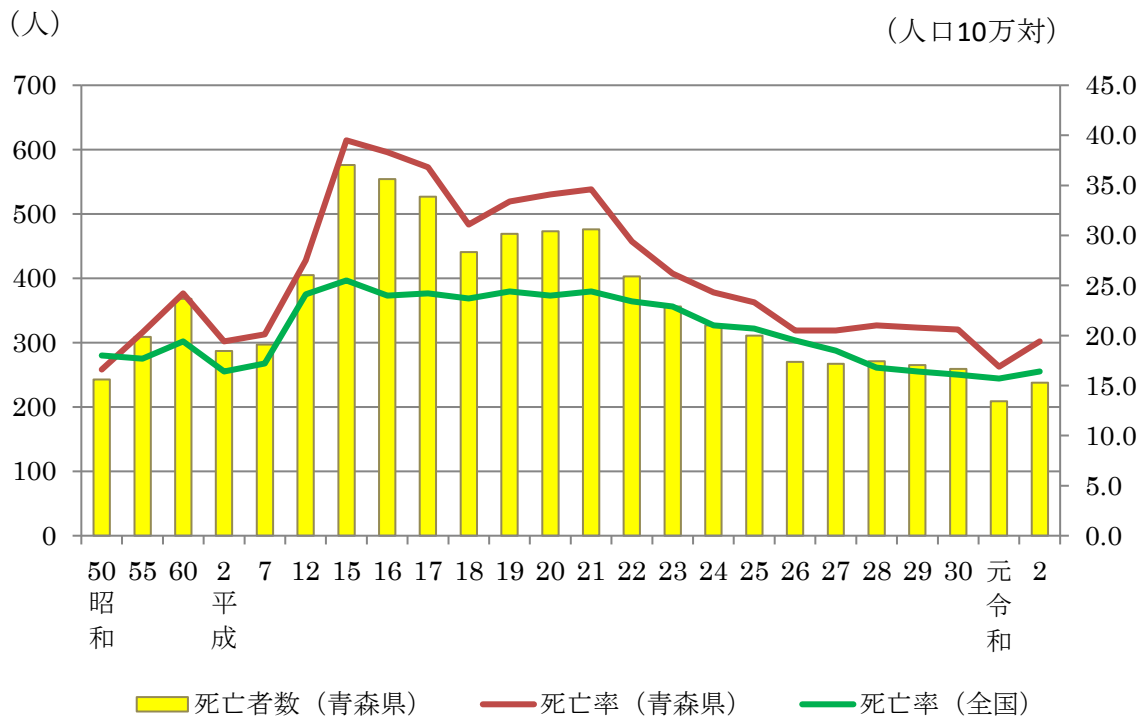


表4 自殺による死亡者数・死亡率の推移

区分	平成23年		24		25		26		27		
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	
青森県	男性	261	40.8	232	36.7	225	35.9	192	31.0	199	32.4
	女性	95	13.2	95	13.3	86	12.2	78	11.2	68	9.8
	総数	356	26.2	327	24.3	311	23.3	270	20.5	267	20.5
	順位	7		7		8		12		11	
全国	男性	19,904	32.4	18,485	30.1	18,158	29.7	16,875	27.6	16,202	26.6
	女性	8,992	13.9	7,948	12.3	7,905	12.3	7,542	11.7	6,950	10.8
	総数	28,896	22.9	26,433	21.0	26,063	20.7	24,417	19.5	23,152	18.5

区分	平成28年		29		30		令和元年		2		
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	
青森県	男性	195	32.2	203	33.9	188	31.8	149	25.6		
	女性	76	11.1	62	9.2	71	10.7	60	9.1		
	総数	271	21.0	265	20.8	259	20.6	209	16.9	238	19.4
	順位	5		3		2		17		4	
全国	男性	14,642	24.1	14,336	23.6	13,851	22.9	13,668	22.7	13,576	22.7
	女性	6,379	9.9	6,132	9.6	6,180	9.7	5,757	9.1	6,646	10.5
	総数	21,021	16.8	20,468	16.4	20,031	16.1	19,425	15.7	20,222	16.4

表5 都道府県別自殺死亡率（上位・下位5位）

区分	平成23年		24		25		26		27		
	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	
高死亡率	1位	秋田	32.3	秋田	27.6	秋田	26.5	岩手	26.6	秋田	25.7
	2位	岩手	28.3	新潟	26.4	岩手	26.4	秋田	26.0	岩手	23.3
	3位	新潟	27.7	高知	25.9	新潟	26.1	宮崎	23.9	宮崎	23.2
	4位	宮崎	27.7	岩手	25.3	島根	25.4	新潟	23.5	島根	22.9
	5位	沖縄	27.2	山形	25.3	群馬	25.2	富山	22.8	新潟	22.0
		<b>青森</b>	<b>26.2 (7位)</b>	<b>青森</b>	<b>24.3 (7位)</b>	<b>青森</b>	<b>23.3 (8位)</b>	<b>青森</b>	<b>20.5 (12位)</b>	<b>青森</b>	<b>20.5 (11位)</b>
低死亡率	43位	三重	19.8	愛知	18.3	佐賀	18.1	奈良	17.1	香川	16.2
	44位	広島	19.6	奈良	17.7	神奈川	17.9	福井	17.1	愛知	16.0
	45位	徳島	18.8	長崎	17.7	福井	17.9	岡山	17.0	奈良	15.9
	46位	福井	18.4	香川	17.5	岡山	17.8	佐賀	17.0	高知	15.7
	47位	奈良	17.4	京都	17.3	石川	17.7	石川	15.7	福井	15.4

区分	平成28年		29		30		令和元年		2		
	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	
高死亡率	1位	秋田	23.8	秋田	24.4	和歌山	21.2	秋田	20.8	岩手	21.2
	2位	岩手	22.9	岩手	21.0	<b>青森</b>	<b>20.6</b>	岩手	20.5	宮崎	20.5
	3位	新潟	21.8	<b>青森</b>	<b>20.8</b>	岩手	20.5	群馬	18.9	福島	19.6
	4位	和歌山	21.7	愛媛	20.3	秋田	20.3	新潟	18.5	<b>青森</b>	<b>19.4</b>
	5位	<b>青森</b>	<b>21.0</b>	福島	20.2	福島	19.7	山形	18.2	群馬	19.3
						<b>青森</b>	<b>16.9 (17位)</b>				
低死亡率	43位	神奈川	14.6	滋賀	14.5	愛知	13.7	石川	14.2	長崎・沖縄	14.0
	44位	鳥取	14.5	愛知	14.4	岡山	13.5	愛知	14.0		
	45位	愛知	14.4	京都	14.1	京都	13.3	神奈川	13.4	京都・岡山	13.8
	46位	京都	14.2	奈良	14.1	石川	12.9	鳥取	13.1		
	47位	奈良	13.6	岡山	14.0	徳島	12.4	京都	12.4	佐賀	13.5

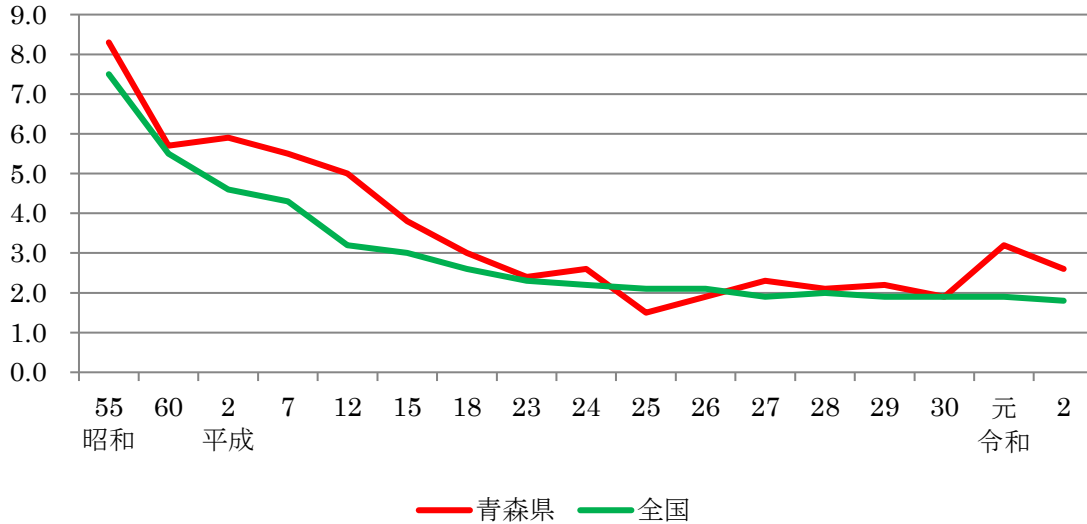
(3) 乳児死亡等

① 乳児死亡

令和2年の乳児死亡数は18人で、前年の23人より5人減少した。乳児死亡率（出生千対）は2.6（全国1.8）で、前年の3.2（全国1.9）を0.6ポイント下回った。

図8 乳児死亡率の年次推移

(出生千対)

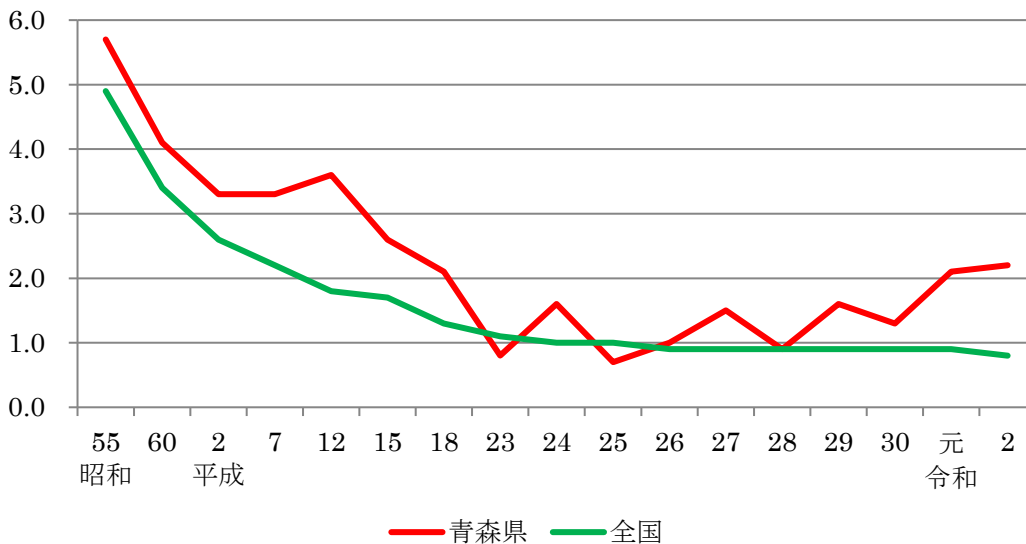


② 新生児死亡

令和2年の新生児死亡数は15人で、前年の15人と同数となった。新生児死亡率（出生千対）は2.2（全国0.8）で、前年の2.1（全国0.9）を0.1ポイント上回った。

図9 新生児死亡率の年次推移

(出生千対)

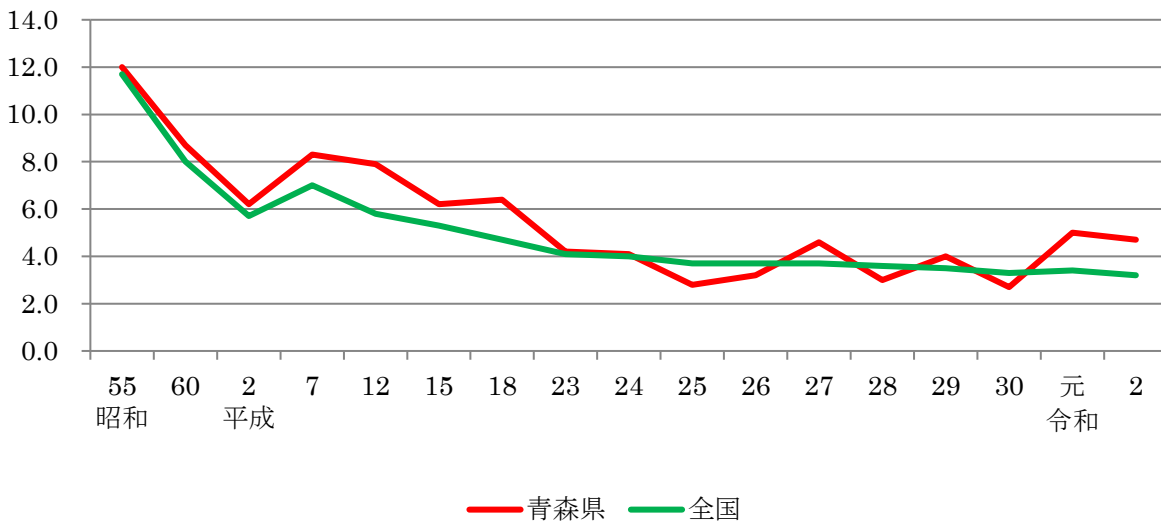


③ 周産期死亡

令和2年の周産期死亡数は32件で、前年の36件より4件減少した。周産期死亡率（出産千対）は4.7（全国3.2）で、前年の5.0（全国3.4）を0.3ポイント下回った。

また、周産期死亡の内訳は満22週以降の死産が17胎、早期新生児死亡が15人であった。

図10 周産期死亡率の年次推移  
(出生千対、出産千対)



※ 死亡数、死亡率の算定方法が、平成6年以前と平成7年以降では異なっている。

	死亡数	死亡率
平成6年以前	妊娠28週以後死産 + 早期新生児	出生千対
平成7年以降	妊娠22週以後死産 + 早期新生児	出産千対 (出生+妊 娠22週以後死産)

④ 5か年比較

①～③については、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから平成23年から27年までと、平成28年から令和2年までの5年単位で比較すると、実数では乳児死亡及び周産期死亡は減少し、新生児死亡のみ増加している。死亡率はいずれも上昇した。

表6 乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡(実数・率)の5か年比較

区分	乳児死亡				新生児死亡				周産期死亡				
	人数	5年合計	率	5年平均	人数	5年合計	率	5年平均	人数	5年合計	率	5年平均	
青森県	平成23	23	98	2.4	2.16	8	51	0.8	1.13	40	172	4.2	3.79
	24	24		2.6		15		1.6		38		4.1	
	25	14		1.5		6		0.7		26		2.8	
	26	17		1.9		9		1.0		28		3.2	
	27	20		2.3		13		1.5		40		4.6	
	28	18	92	2.1	2.39	8	61	0.9	1.59	26	147	3.0	3.81
	29	18		2.2		13		1.6		32		4.0	
	30	15		1.9		10		1.3		21		2.7	
	令和元	23		3.2		15		2.1		36		5.0	
	2	18		2.6		15		2.2		32		4.7	
全国	平成23	2,463	10,943	2.3	2.13	1,147	5,092	1.1	0.99	4,315	19,790	4.1	3.85
	24	2,299		2.2		1,065		1.0		4,133		4.0	
	25	2,185		2.1		1,026		1.0		3,862		3.7	
	26	2,080		2.1		952		0.9		3,751		3.7	
	27	1,916		1.9		902		0.9		3,729		3.7	
	28	1,929	8,605	2.0	1.89	875	3,968	0.9	0.87	3,518	15,455	3.6	3.39
	29	1,762		1.9		833		0.9		3,309		3.5	
	30	1,748		1.9		801		0.9		2,999		3.3	
	令和元	1,654		1.9		755		0.9		2,955		3.4	
	2	1,512		1.8		704		0.8		2,674		3.2	

※ 「5年平均の率」は、「5年合計」を乳児・新生児死亡については5年分出生数で、周産期死亡については5年分出産数(出生数+妊娠満22週以降の死産数)で除した数値である。

## 5 婚姻・離婚

### (1) 婚姻

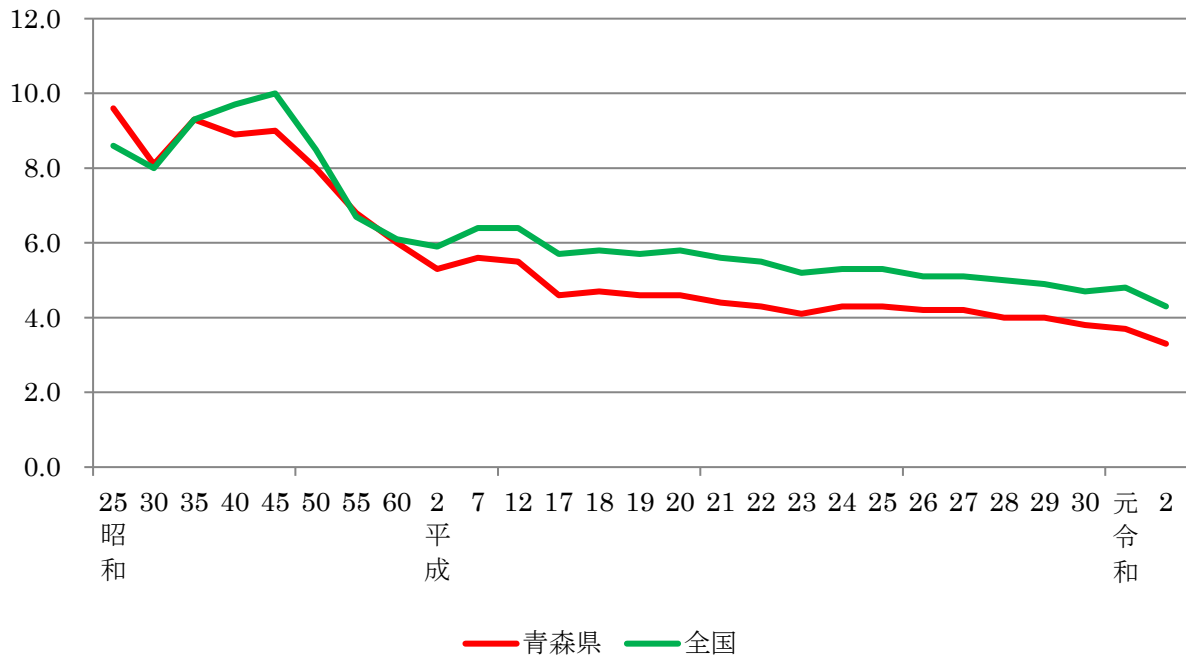
#### ① 婚姻件数

令和2年の婚姻件数は4,032組で、前年の4,601組より569組減少し、婚姻率（人口千対）は3.3（全国4.3）で、前年の3.7（全国4.8）を0.4ポイント下回った。

本県の婚姻件数・婚姻率は、長期的に減少・低下傾向にある。

図1-1 婚姻率の推移

（人口千対）

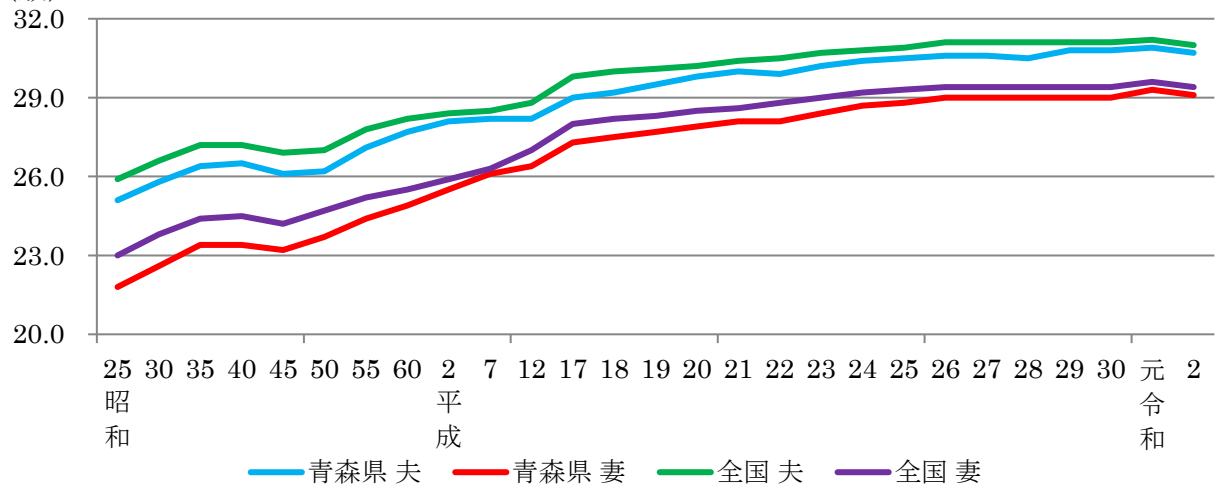


#### ② 平均初婚年齢

令和2年の平均初婚年齢は、男性が30.7歳（全国31.0歳）、女性が29.1歳（全国29.4歳）で、男性は前年の30.9歳（全国31.2歳）を0.2歳下回り、女性は前年の29.3歳（全国29.6歳）を0.2歳下回った。

図1-2 平均初婚年齢の推移

（歳）



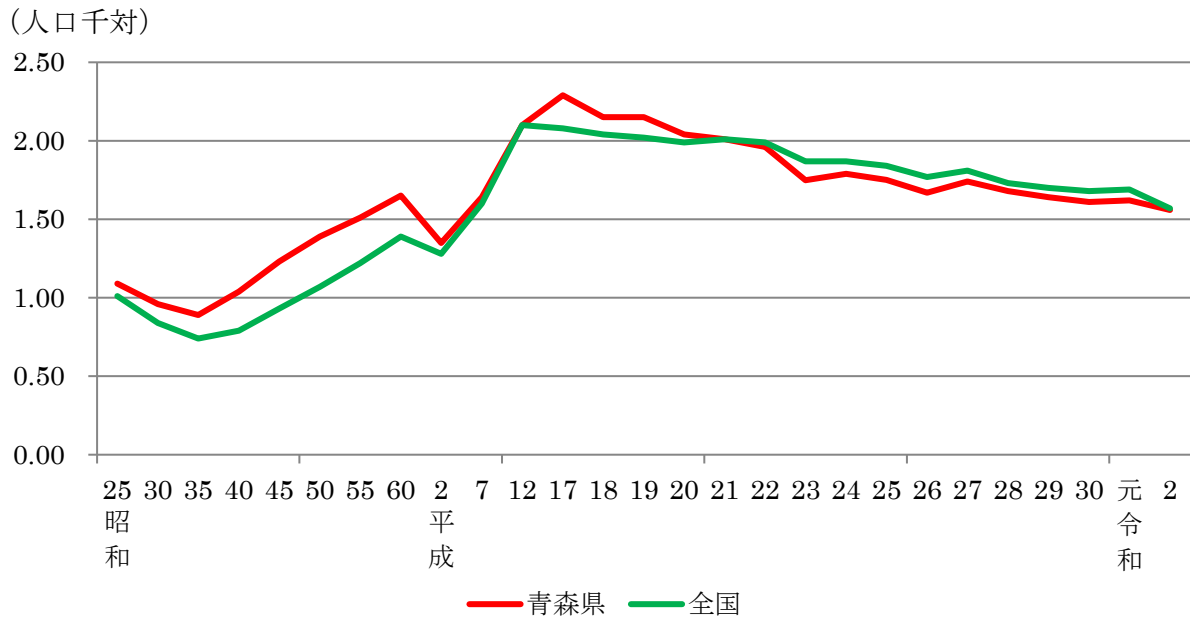


## (2) 離婚

令和2年の離婚件数は1,915組で、前年の2,009組より94組減少し、離婚率（人口千対）は1.56（全国1.57）で、前年の1.62（全国1.69）を0.06ポイント下回った。

本県の離婚件数、離婚率については、平成15年にピークに達し、その後は緩やかな減少・低下傾向にある。

図13 青森県の離婚率の推移



# 統計表

<注意事項>

厚生労働省において、平成 16・18・21～29 年の都道府県からの報告漏れ（平成 31 年 3 月 29 日厚生労働省公表）による再集計を行ったことにより、表の中で下線が引かれた数値について修正している。

第1表 人口動態総覧の年次推移

年	出生数	死亡数	自然増減数	乳児死亡数	新生児死亡数	死産数			周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数
						総数	自然	人工			
昭和25年	46,137	16,707	29,430	4,404	...	3,885	1,845	2,040	...	12,366	1,396
30	35,219	11,094	24,125	2,043	942	3,216	1,339	1,877	1,403	11,213	1,329
35	29,881	10,742	19,139	1,370	663	3,367	1,592	1,775	1,314	13,205	1,276
40	28,204	9,805	18,399	822	507	2,561	1,352	1,209	909	12,592	1,480
45	26,369	9,669	16,700	468	293	2,090	1,188	902	631	12,878	1,763
50	24,031	9,546	14,485	291	193	1,583	951	632	425	11,695	2,047
55	21,761	10,052	11,709	180	124	1,122	735	387	261	10,414	2,307
60	19,095	10,547	8,548	109	78	1,010	490	520	166	9,175	2,512
61	18,353	10,043	8,310	103	60	951	485	466	150	8,902	2,511
62	17,324	10,200	7,124	107	68	855	442	413	155	8,200	2,369
63	16,373	10,751	5,622	98	62	777	396	381	119	8,136	2,045
平成元年	15,544	10,901	4,643	105	69	748	378	370	136	7,858	2,202
2	14,635	10,812	3,823	86	48	645	311	334	91	7,892	2,001
3	15,030	11,241	3,789	76	39	565	292	273	89	7,868	2,205
4	14,486	11,631	2,855	68	35	610	274	336	81	8,180	2,266
5	14,357	12,210	2,147	75	40	562	266	296	87	8,636	2,385
6	14,767	11,950	2,817	61	41	542	276	266	87	8,239	2,331
7	13,972	12,496	1,476	77	46	527	235	292	116	8,306	2,429
8	13,955	12,542	1,413	60	36	480	220	260	102	8,190	2,496
9	13,606	12,768	838	44	20	494	232	262	101	7,912	2,650
10	13,594	12,752	842	49	28	498	207	291	83	8,113	2,806
11	13,146	13,445	△ 299	67	46	467	181	286	87	7,730	2,888
12	12,920	13,147	△ 227	64	47	471	200	271	103	8,138	3,092
13	12,889	13,281	△ 392	48	28	460	190	270	92	8,069	3,440
14	12,434	13,446	△ 1,012	46	31	426	171	255	76	7,730	3,631
15	11,723	13,995	△ 2,272	45	30	415	163	252	73	7,130	3,645
16	11,554	14,372	△ 2,818	27	17	369	160	209	59	6,924	3,429
17	10,524	14,882	△ 4,358	29	20	367	154	213	56	6,584	3,281
18	10,556	14,733	△ 4,177	32	22	382	166	216	68	6,642	3,044
19	10,162	14,968	△ 4,806	26	17	311	131	180	55	6,405	3,014
20	10,187	15,400	△ 5,213	21	11	290	130	160	45	6,401	2,828
21	9,524	15,387	△ 5,863	33	17	290	139	151	46	6,069	2,768
22	9,712	16,030	△ 6,318	21	12	283	142	141	39	5,926	2,679
23	9,532	16,419	△ 6,887	23	8	256	120	136	40	5,583	2,378
24	9,168	17,294	△ 8,126	24	15	260	119	141	38	5,846	2,408
25	9,126	17,112	△ 7,986	14	6	239	112	127	26	5,723	2,335
26	8,853	17,042	△ 8,189	17	9	250	108	142	28	5,481	2,195
27	8,621	17,148	△ 8,527	20	13	216	102	114	40	5,432	2,267
28	8,626	17,309	△ 8,683	18	8	183	81	102	26	5,135	2,164
29	8,035	17,575	△ 9,540	18	13	173	81	92	32	5,122	2,092
30	7,803	17,936	△ 10,133	15	10	191	91	100	21	4,737	2,022
令和元年	7,170	18,424	△ 11,254	23	15	168	88	80	36	4,601	2,009
2	6,837	17,905	△ 11,068	18	15	145	87	58	32	4,032	1,915

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移

年	出生	死亡	自然増減	乳児死亡	新生児死亡	死産（出産千対）			周産期死亡	婚姻	離婚	合計特殊出生率
	（人口千対）			（出生千対）		総数	自然	人工	（出産千対）	（人口千対）		
昭和25年	36.0	13.0	22.9	95.5	...	77.7	36.9	40.8	...	9.6	1.09	4.81
30	25.5	8.0	17.4	58.0	26.7	83.7	34.8	48.8	39.8	8.1	0.96	3.15
35	20.9	7.5	13.4	45.8	22.2	101.3	47.9	53.4	44.0	9.3	0.89	2.48
40	19.9	6.9	13.0	29.1	18.0	83.2	43.9	39.3	32.2	8.9	1.04	2.45
45	18.5	6.8	11.6	17.7	11.1	73.4	41.7	31.7	23.9	9.0	1.24	2.25
50	16.4	6.5	9.9	12.1	8.0	61.8	37.1	24.7	17.7	8.0	1.40	2.00
55	14.3	6.6	7.7	8.3	5.7	49.0	32.1	16.9	12.0	6.8	1.52	1.85
60	12.6	6.9	5.6	5.7	4.1	50.2	24.4	25.9	8.7	6.0	1.65	1.80
61	12.1	6.6	5.5	5.6	3.3	49.3	25.1	24.1	8.2	5.9	1.65	1.70
62	11.5	6.7	4.7	6.2	3.9	47.0	24.3	22.7	8.9	5.4	1.57	1.71
63	10.9	7.1	3.7	6.0	3.8	45.3	23.1	22.2	7.3	5.4	1.36	1.63
平成元年	10.4	7.3	3.1	6.8	4.4	45.9	23.3	22.7	8.7	5.2	1.47	1.55
2	9.9	7.3	2.6	5.9	3.3	42.2	20.4	21.9	6.2	5.3	1.35	1.56
3	10.2	7.6	2.6	5.1	2.6	36.2	18.7	17.5	5.9	5.3	1.50	1.65
4	9.9	7.9	1.9	4.7	2.4	40.4	18.2	22.3	5.6	5.6	1.54	1.61
5	9.8	8.3	1.5	5.2	2.8	37.7	17.8	19.8	6.1	5.9	1.63	1.58
6	10.1	8.1	1.9	4.1	2.8	35.4	18.0	17.4	5.9	5.6	1.59	1.64
7	9.5	8.5	1.0	5.5	3.3	36.3	16.2	20.1	8.3	5.6	1.64	1.56
8	9.4	8.5	1.0	4.3	2.6	33.3	15.2	18.0	7.3	5.5	1.69	1.54
9	9.2	8.6	0.6	3.2	1.5	35.0	16.5	18.6	7.4	5.4	1.79	1.50
10	9.2	8.6	0.6	3.6	2.1	35.3	14.7	20.7	6.1	5.5	1.90	1.50
11	8.9	9.1	△ 0.2	5.1	3.5	34.3	13.3	21.0	6.6	5.2	1.96	1.46
12	8.8	8.9	△ 0.2	5.0	3.6	35.2	14.9	20.2	7.9	5.5	2.10	1.47
13	8.8	9.0	△ 0.3	3.7	2.2	34.5	14.2	20.2	7.1	5.5	2.34	1.47
14	8.5	9.2	△ 0.7	3.7	2.5	33.1	13.3	19.8	6.1	5.3	2.48	1.44
15	8.0	9.6	△ 1.6	3.8	2.6	34.2	13.4	20.8	6.2	4.9	2.50	1.35
16	8.0	9.9	△ 1.9	2.3	1.5	30.9	13.4	17.5	5.1	4.8	2.37	1.35
17	7.3	10.4	△ 3.0	2.8	1.9	33.7	14.1	19.6	5.3	4.6	2.29	1.29
18	7.4	10.4	△ 2.9	3.0	2.1	34.9	15.2	19.7	6.4	4.7	2.15	1.31
19	7.2	10.7	△ 3.4	2.6	1.7	29.7	12.5	17.2	5.4	4.6	2.15	1.28
20	7.3	11.1	△ 3.8	2.1	1.1	27.7	12.4	15.3	4.4	4.6	2.04	1.30
21	6.9	11.2	△ 4.3	3.5	1.8	29.5	14.2	15.4	4.8	4.4	2.01	1.26
22	7.1	11.7	△ 4.6	2.2	1.2	28.3	14.2	14.1	4.0	4.3	1.96	1.38
23	7.0	12.1	△ 5.1	2.4	0.8	26.2	12.3	13.9	4.2	4.1	1.75	1.38
24	6.8	12.8	△ 6.0	2.6	1.6	27.6	12.6	15.0	4.1	4.3	1.79	1.36
25	6.8	12.8	△ 6.0	1.5	0.7	25.5	12.0	13.6	2.8	4.3	1.75	1.40
26	6.7	12.9	△ 6.2	1.9	1.0	27.5	11.9	15.6	3.2	4.2	1.67	1.42
27	6.6	13.1	△ 6.5	2.3	1.5	24.4	11.5	12.9	4.6	4.2	1.74	1.43
28	6.7	13.4	△ 6.7	2.1	0.9	20.8	9.2	11.6	3.0	4.0	1.68	1.48
29	6.3	13.8	△ 7.5	2.2	1.6	21.1	9.9	11.2	4.0	4.0	1.64	1.43
30	6.2	14.3	△ 8.1	1.9	1.3	23.9	11.4	12.5	2.7	3.8	1.61	1.43
令和元年	5.8	14.9	△ 9.1	3.2	2.1	22.9	12.0	10.9	5.0	3.7	1.62	1.38
2	5.6	14.6	△ 9.0	2.6	2.2	20.8	12.5	8.3	4.7	3.3	1.56	1.33

第3表 出生数の年次別推移、母の年齢階級（5歳階級）別

※出生数総数には母の年齢14歳以下、50歳以上及び年齢不詳が含まれている。

母の年齢	平成2年	7	12	17	22	27	28	29	30	令和元年	2
総数	14,635	13,972	12,920	10,524	9,712	8,621	8,626	8,035	7,803	7,170	6,837
（再掲）											
15歳～19歳	200	240	297	192	143	125	109	89	85	76	57
20歳～24歳	2,467	2,614	2,361	1,730	1,344	1,002	976	925	832	771	708
25歳～29歳	6,430	5,406	4,694	3,473	3,086	2,439	2,374	2,175	2,185	1,941	1,830
30歳～34歳	4,266	4,244	3,944	3,451	3,108	2,972	2,939	2,727	2,685	2,416	2,324
35歳～39歳	1,131	1,296	1,414	1,446	1,736	1,718	1,834	1,719	1,592	1,596	1,551
40歳～44歳	140	167	201	227	285	358	387	388	414	354	359
45歳～49歳	1	4	9	5	8	7	7	11	9	16	6

第4表 母の年齢階級（5歳階級）別出生数の構成割合

母の年齢	平成2年	7	12	17	22	27	28	29	30	令和元年	2
15歳～19歳	1.4	1.7	2.3	1.8	1.5	1.4	1.3	1.1	1.1	1.1	0.8
20歳～24歳	16.9	18.7	18.3	16.4	13.8	11.6	11.3	11.5	10.7	10.8	10.4
25歳～29歳	43.9	38.7	36.3	33.0	31.8	28.3	27.5	27.1	28.0	27.1	26.8
30歳～34歳	29.1	30.4	30.5	32.8	32.0	34.5	34.1	33.9	34.4	33.7	34.0
35歳～39歳	7.7	9.3	10.9	13.7	17.9	19.9	21.3	21.4	20.4	22.3	22.7
40歳～44歳	1.0	1.2	1.6	2.2	2.9	4.2	4.5	4.8	5.3	4.9	5.3
45歳～49歳	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1

第5表 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北6県比較）

年	全国	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
昭和							
50	1.91	2.00	2.14	1.96	1.86	1.96	2.13
55	1.75	1.85	1.95	1.86	1.79	1.93	1.99
60	1.76	1.80	1.88	1.80	1.69	1.87	1.98
平成							
2	1.54	1.56	1.72	1.57	1.57	1.75	1.79
7	1.42	1.56	1.62	1.46	1.56	1.69	1.72
12	1.36	1.47	1.56	1.39	1.45	1.62	1.65
17	1.26	1.29	1.41	1.24	1.34	1.45	1.49
18	1.32	1.31	1.39	1.25	1.34	1.45	1.49
19	1.34	1.28	1.39	1.27	1.31	1.42	1.49
20	1.37	1.30	1.39	1.29	1.32	1.44	1.52
21	1.37	1.26	1.37	1.25	1.29	1.39	1.49
22	1.39	1.38	1.46	1.30	1.31	1.48	1.52
23	1.39	1.38	1.41	1.25	1.35	1.46	1.48
24	1.41	1.36	1.44	1.30	1.37	1.44	1.41
25	1.43	1.40	1.46	1.34	1.35	1.47	1.53
26	1.42	1.42	1.44	1.30	1.34	1.47	1.58
27	1.45	1.43	1.49	1.36	1.35	1.48	1.58
28	1.44	1.48	1.45	1.35	1.39	1.47	1.59
29	1.43	1.43	1.47	1.31	1.35	1.45	1.57
30	1.42	1.43	1.41	1.30	1.33	1.48	1.53
令和							
元	1.36	1.38	1.35	1.23	1.33	1.40	1.47
2	1.34	1.33	1.33	1.21	1.32	1.41	1.48

第6表 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移

年	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		肺炎		老衰		不慮の事故		自殺		糖尿病	
	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位
昭和																
50	117.9	39	84.1	39	172.4	32	39.7	20	30.7	26	40.7	8	16.6	32	8.7	23
55	140.4	32	107.4	36	157.8	30	40.7	21	35.0	23	34.5	10	20.3	11	7.4	27
60	174.3	20	129.0	23	134.9	20	49.3	18	31.1	18	28.0	22	24.2	9	8.0	22
平成																
2	192.4	21	151.8	22	111.8	28	64.7	28	26.7	16	30.0	23	19.4	11	11.3	2
7	236.0	15	133.5	11	141.9	17	77.9	15	25.3	14	38.4	19	20.1	9	13.0	14
12	261.0	16	136.9	13	135.5	12	86.2	13	21.7	17	39.4	15	27.5	6	12.3	4
15	283.2	10	148.7	16	138.5	11	89.4	17	20.6	24	35.0	25	39.5	2	12.2	12
16	298.8	9	154.7	13	141.2	9	91.7	19	22.7	21	37.4	19	38.3	2	14.4	2
17	305.9	10	172.9	10	141.3	11	100.9	20	23.4	26	36.6	25	36.8	2	13.3	7
18	313.9	6	171.2	10	134.8	11	104.2	14	26.7	21	34.4	27	31.1	6	13.6	5
19	327.7	6	167.6	13	134.3	10	107.1	18	30.6	17	35.0	23	33.4	3	16.9	1
20	334.7	3	173.1	14	136.2	11	118.1	13	32.9	23	33.4	30	34.1	2	16.9	2
21	328.4	7	179.9	13	133.7	9	119.2	10	37.2	21	34.3	28	34.6	2	15.3	3
22	349.3	2	192.3	10	137.5	8	119.1	12	44.4	18	40.3	18	29.4	3	16.6	4
23	353.2	4	197.4	12	141.5	7	127.6	11	46.3	24	35.7	29	26.2	7	16.8	4
24	356.7	4	210.8	8	145.9	6	144.1	5	59.0	21	37.9	24	24.3	7	17.0	2
25	369.7	2	198.7	10	135.5	8	143.1	4	66.4	21	37.4	25	23.3	8	16.0	4
26	379.5	2	196.1	13	132.5	6	132.2	7	74.7	19	42.6	11	20.5	12	17.9	1
27	385.9	2	197.9	12	130.7	6	135.3	5	78.7	22	37.8	22	20.5	11	18.3	1
28	390.2	2	199.1	11	124.8	9	136.4	5	87.0	21	41.8	14	21.0	5	17.1	1
29	391.4	2	205.7	13	133.4	4	110.4	8	92.5	22	44.6	9	20.8	3	19.0	2
30	393.2	2	213.4	12	132.4	4	106.2	7	105.6	18	43.2	16	20.6	2	20.2	1
令和																
元	413.3	2	226.2	7	129.9	5	106.5	7	120.5	19	45.3	6	16.9	17	18.0	1
2	407.2	2	221.6	7	118.8	7	94.70	5	131.1	18	43.6	6	19.4	4	17.1	3

※ 「肺炎」一昭和50、55、60年、平成2年は当時の死因分類により「肺炎及び気管支炎」を計上。

第7表 死亡順位別にみた死亡数の構成割合

		平成7	12	17	22	23	24	25
第1位	死因分類名	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	割合	27.9	29.2	29.5	29.8	29.3	27.8	28.8
第2位	死因分類名	脳血管疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
	割合	16.8	15.3	16.6	16.4	16.4	16.4	15.5
第3位	死因分類名	心疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	肺炎
	割合	15.8	15.2	13.6	11.7	11.7	11.4	11.2

		26	27	28	29	30	令和元年	2
第1位	死因分類名	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	割合	29.4	29.4	29.1	28.4	27.6	27.8	27.9
第2位	死因分類名	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
	割合	15.2	15.1	14.8	14.9	15.0	15.2	15.2
第3位	死因分類名	脳血管疾患	肺炎	肺炎	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	老衰
	割合	10.2	10.3	10.2	9.7	9.3	8.7	9.0

第8表 主な死因別にみた年齢調整死亡率の推移

死因	平成7年		12		17		22		27	
	男性		男性		男性		男性		男性	
	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位
総数	833.1	2	755.9	1	733.4	1	662.4	1	585.6	1
悪性新生物	247.3	6	240.2	3	234.1	1	215.9	1	201.6	1
心疾患	123.0	1	102.5	1	108.0	1	98.8	1	76.8	6
脳血管疾患	122.1	2	102.7	1	84.0	1	67.1	2	52.8	1
肺炎	78.2	1	69.3	1	61.7	1	58.6	1	49.1	1
自殺	28.1	8	34.8	11	52.2	1	39.1	2	26.5	11
不慮の事故	51.0	5	44.3	2	37.1	8	33.0	3	25.4	7
腎不全	14.8	2	11.9	1	10.0	11	12.8	1	10.0	1
肝疾患	17.8	12	17.3	6	15.8	5	12.6	7	10.9	8
糖尿病	10.8	16	9.9	3	9.0	7	9.0	1	9.3	2
老衰	13.4	7	8.7	7	6.6	14	7.8	17	10.5	19
死因	女性		女性		女性		女性		女性	
	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位
	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位
総数	404.9	3	346.5	2	322.9	2	304.3	1	288.4	1
悪性新生物	110.3	11	101.1	23	99.6	9	105.6	1	103.0	1
心疾患	63.7	7	53.5	6	50.2	8	44.9	8	36.6	16
脳血管疾患	72.5	7	51.6	9	45.3	2	34.0	3	28.2	3
肺炎	32.2	7	26.9	2	24.1	7	20.2	15	19.6	4
自殺	8.7	35	11.8	8	11.8	9	12.4	10	7.4	40
不慮の事故	16.3	24	14.4	18	11.9	25	10.9	22	9.7	12
腎不全	9.0	3	8.4	1	6.4	5	5.8	8	5.2	3
肝疾患	5.1	29	4.2	29	4.4	15	4.3	11	3.7	13
糖尿病	7.5	9	4.8	12	4.3	11	4.0	10	3.7	2
老衰	14.2	5	8.9	7	6.8	22	10.1	13	13.1	25

※年齢調整死亡率

人口構成の異なる集団間で死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標。厚生労働省では、都道府県別の年齢調整死亡率を5年ごとに公表している。

第9表 乳児死亡数及び死亡率の推移

年	乳児死亡数				
	青森県			全国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
55 昭和	180	8.3	13	11,841	7.5
60	109	5.7	19	7,899	5.5
平成					
2	86	5.9	5	5,616	4.6
7	77	5.5	4	5,054	4.3
12	64	5.0	1	3,830	3.2
15	45	3.8	2	3,364	3.0
16	27	2.3	44	3,122	2.8
17	29	2.8	28	2,958	2.8
18	32	3.0	8	2,864	2.6
19	26	2.6	23	2,828	2.6
20	21	2.1	41	2,798	2.6
21	33	3.5	3	2,556	2.4
22	21	2.2	35	2,450	2.3
23	23	2.4	16	2,463	2.3
24	24	2.6	10	2,299	2.2
25	14	1.5	45	2,185	2.1
26	17	1.9	34	2,080	2.1
27	20	2.3	8	1,916	1.9
28	18	2.1	19	1,929	2.0
29	18	2.2	11	1,762	1.9
30	15	1.9	21	1,748	1.9
令和					
元	23	3.2	1	1,654	1.9
2	18	2.6	5	1,512	1.8

第10表 新生児死亡数及び死亡率の推移

年	新生児死亡数				
	県			国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和					
55	124	5.7	11	7,796	4.9
60	78	4.1	8	4,910	3.4
平成					
2	48	3.3	9	3,179	2.6
7	46	3.3	3	2,615	2.2
12	47	3.6	1	2,106	1.8
15	30	2.6	1	1,879	1.7
16	17	1.5	26	1,622	1.5
17	20	1.9	3	1,510	1.4
18	22	2.1	2	1,444	1.3
19	17	1.7	9	1,434	1.3
20	11	1.1	30	1,331	1.2
21	17	1.8	6	1,254	1.2
22	12	1.2	15	1,167	1.1
23	8	0.8	35	1,147	1.1
24	15	1.6	3	1,065	1.0
25	6	0.7	43	1,026	1.0
26	9	1.0	17	952	0.9
27	13	1.5	3	902	0.9
28	8	0.9	21	875	0.9
29	13	1.6	2	833	0.9
30	10	1.3	4	801	0.9
令和					
元	15	2.1	1	755	0.9
2	15	2.2	2	704	0.8

第 1 1 表 周産期死亡数及び死亡率の推移

年	周産期死亡数				
	県			国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和 55	261	12.0	22	18,385	11.7
60	166	8.7	10	11,470	8.0
平成 2	91	6.2	13	7,001	5.7
7	116	8.3	5	8,412	7.0
12	103	7.9	1	6,881	5.8
15	73	6.2	4	5,929	5.3
16	59	5.1	24	5,541	5.0
17	56	5.3	10	5,149	4.8
18	68	6.4	2	5,100	4.7
19	55	5.4	5	4,906	4.5
20	45	4.4	17	4,720	4.3
21	46	4.8	8	4,519	4.2
22	39	4.0	27	4,515	4.2
23	40	4.2	28	4,315	4.1
24	38	4.1	18	4,133	4.0
25	26	2.8	45	3,862	3.7
26	28	3.2	39	3,751	3.7
27	40	4.6	7	3,729	3.7
28	26	3.0	39	3,518	3.6
29	32	4.0	10	3,309	3.5
30	21	2.7	42	2,999	3.3
令和 元	36	5.0	2	2,955	3.4
2	32	4.7	2	2,674	3.2

※ 死亡数、死亡率の算定方法が、平成6年以前と平成7年以降では異なっている。

	死亡数	死亡率
平成6年以前	妊娠28週以後死産 ＋早期新生児	出生千対
平成7年以降	妊娠22週以後死産 ＋早期新生児	出産千対（出生＋妊 娠22週以後死産）



【問い合わせ先】

項 目	該当ページ	担 当 課	連 絡 先
出 生	6,7	こどもみらい課 子育て支援グループ	(直通) 017-734-9301 (内線) 6301
死 亡	三大死因による死亡	8~10 がん・生活習慣病対策課 がん対策推進グループ	(直通) 017-734-9216 (内線) 6342
	自殺による死亡	10,11 障害福祉課 障害企画・精神保健グループ	(直通) 017-734-9307 (内線) 6321
	乳児・新生児死亡	12,13 こどもみらい課 家庭支援グループ	(直通) 017-734-9303 (内線) 6307
	周産期死亡	12,13 医療薬務課 地域医療確保グループ こどもみらい課 家庭支援グループ	(直通) 017-734-9287 (内線) 6244 (直通) 017-734-9303 (内線) 6307
婚 姻	14	こどもみらい課 子育て支援グループ	(直通) 017-734-9301 (内線) 6301
その他数値に関すること		健康福祉政策課 企画政策グループ	(直通) 017-734-9277 (内線) 6215